

令和元年主催事業「ひこさんジュニアキャンプ」

- 開催日 令和元年10月 5日(土)～10月 6日(日)
- 参加者 42名
- 事業のねらい
 - (1) 英彦山の豊かな自然の中での集団生活や体験活動を通して、自然に親しむ心や体を育てる。
 - (2) 友達と一緒に遊んだり、協力したりする体験を通して、協調性や主体性を育む。
 - (3) 目標を設定し、それに向かってチャレンジする心の育成を図る。
- 活動の実際

レクリエーション

まず、班の仲間と打ち解けるためのレクリエーションを行いました。いろいろな友だちと交流でき、班の友だちの名前を覚え、仲良くなることが出来ていました。



キーホルダー作り

つつるになるまで磨くことを目標に、オリジナルのキーホルダー作りに取り組みました。お手本のようにつつるになるよう一生懸命磨き上げました。



館内探検「カードラリー」

館内の地図を見ながら、隠されたカードを見つけていく活動を行いました。時間内に見つけられるよう班で協力して探検することで、部屋の名前や場所なども覚えることができました。



パネルシアター

やまびこさんによるパネルシアターを鑑賞しました。とても楽しげな語り口調で、子どもたちの心を掴んでいました。音楽にあわせて手拍子をたたいたり、次に何が出てくるかを予想しながら聞くなど、楽しい時間を過ごすことができました。



お弁当作り

『オリジナル〇〇弁当を作ろう』ということで〇〇に入れる題名を自分で考え、それに合わせておかずを選んだり、おにぎりを作ったりしました。ご飯は炊飯器ではなくライスクッカーという鍋で炊きました。自分たちで作ったお弁当がとてもおいしかったようで、お弁当箱に入りきれなかったおにぎりをどんどんおかわりしていました。



英彦山体験活動

初めて登る子ども多い中で実施した登山。疲れた時には声をかけあったり、歌を歌ったり、しりとりをしたりするなど励まし合いながら登る場面が多く見られました。

『楽しかったからもっと上まで登りたかった』『きつかったけどみんなで頑張れたからよかった』などの感想が聞かれました。



○全体を通して

このキャンプでは、「自分のことは自分でやろう！」「みんなと仲良くしよう！」「友だちと力を合わせて活動しよう！」の3つのめあてをもとに活動しました。

また、福岡鍛ほめメソッドを取り入れ、すべての活動で目標を明確にし、子どもたちが自分たちの力で目標を達成できるように支援を行っていきました。

子どもたちは2日間の様々な体験活動を通して、自分から進んでしようとする意欲を持ち、友だちと協力し、時にはスタッフのサポートを受けながら目標を達成するよう頑張っていました。

子どもたちからは、「最後まで自分の力でできた」「友だちと力をあわせたから頑張れた」「今回出来なかったことを次回頑張りたい」などの感想が多く聞かれ、目標を達成することができたと感じています。

これからも、英彦山の自然を生かして、子どもたちが目を輝かせながら取り組み、達成感を得られるような企画を実施していききたいと思います。